



金沢区役所では、このたび、区民の皆さまの生活環境への意識や日常生活、区に取り組んでほしいことなどを把握し、今後の区政運営に役立てることを目的に、区民意識調査を実施しました。ご回答をいただかれた方におかれましては、ご協力いただき誠にありがとうございました。

令和5年度 金沢区区民意識調査 結果(概要版)



【調査概要】

調査対象：金沢区内にお住まいの18歳以上の方3,000人
 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
 回答数：1,680票(回答率56.0%)
 調査期間：令和5年5月18日～6月12日
 調査方法：郵送による配布、郵送による回収及びWeb回答

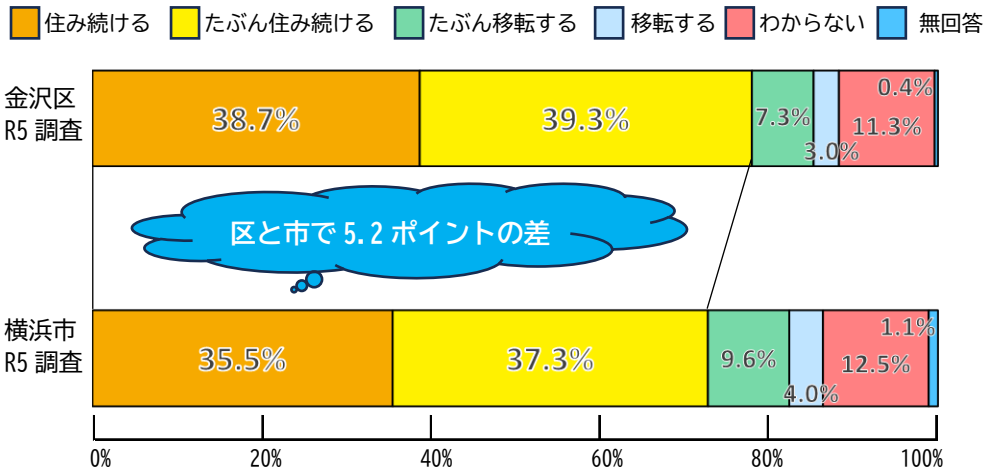
【比較対象のアンケート調査と略称】

平成23年度金沢区民意識調査(H23調査)
 令和元年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査(R1調査)
 令和5年度金沢区区民意識調査(R5調査)
 令和5年度横浜市民意識調査(横浜市R5調査)

定住志向

問3：これからも今のお住まいの場所に住み続けるお気持ちですか。(単一回答)

金沢区に住み続けるとお考えの方が8割弱

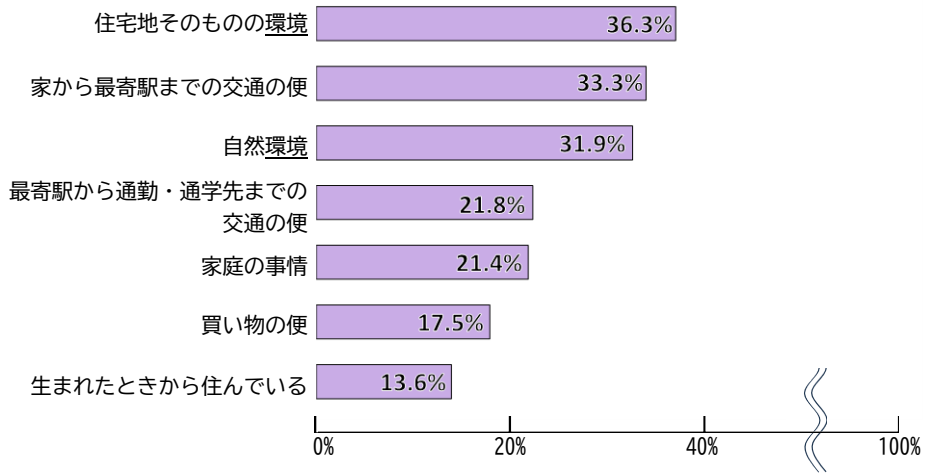


「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると78.0%であり、この数字はR1調査からほぼ変わっていません。
 一方、横浜市全体と比較すると金沢区のほうが5.2ポイント高く、金沢区民の定住志向の高さが伺えます。

問1：今のお住まいの場所を選ばれた理由は何ですか。(複数回答)

環境が重視されている

住まいの場所を選ぶ理由は、H23調査と同様に”環境”が重視されています。これは横浜市全体と比較しても金沢区のほうが高い傾向にあります。

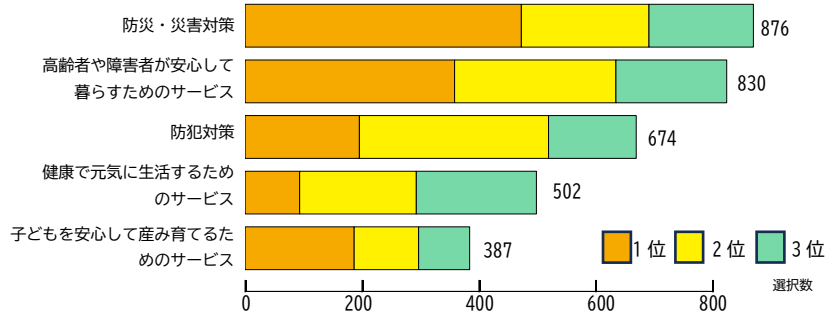


行政に力を入れてほしいこと

問6：日常生活を送っているなかで、行政に特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。（上位3つを選択）

生活における安全・安心を重視

1位～3位に選択された項目の合計は、「防災・災害対策」「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」「防犯対策」の順になっています。生活における安全・安心を重視する傾向は、H23年調査と同様です。



子育て



問25：子どもを育てる上で大切だと思うことは何ですか。（複数回答）

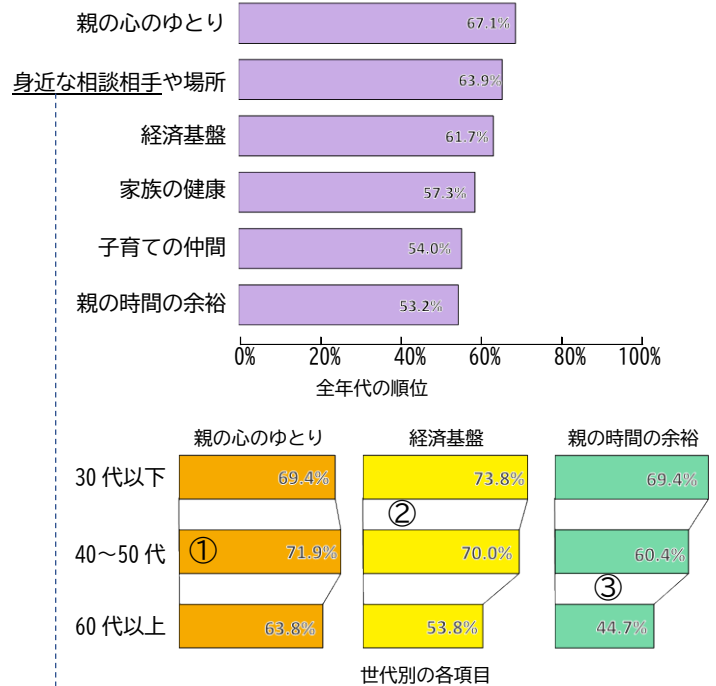
子育て世代は「経済基盤」を重視

全世代の合計では、「親の心のゆとり」が1位で、「身近な相談相手や場所」「経済基盤」の順でした。

世代別に見ると「経済基盤」「親の時間の余裕」が、子育て世代において重視されている傾向が見られました。

【特徴的なポイント】 * 番号は右のグラフに対応

- ① 親の心のゆとり：各世代ともに共通の認識
- ② 経済基盤：子育て世代が高く、特に30代以下が高い
- ③ 親の時間の余裕：同上



問26：地域で子育てしている方に対して、どのような協力ができそうだと思いますか。（複数回答）

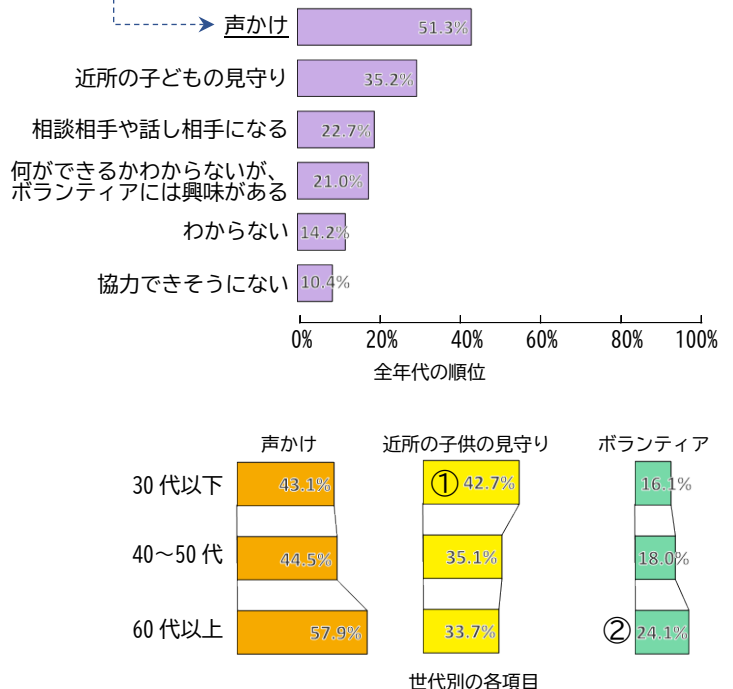
各世代で協力できそうなことは異なる

全体では、半数を超える方が「声かけ」には協力できると回答されています。これは、子育ての上で大切だと思うこと(問25)で、2番目に多く選択されている「身近な相談相手」につながるような協力とも考えられます。

世代別に見ると、協力できそうなことに違いが見られました。各世代がそれぞれ助け合うことで、子育て世代に向けた多面的な支援ができそうです。

【特徴的なポイント】 * 番号は右のグラフに対応

- ① 近所の子供の見守り：30代以下が高い
- ② ボランティア：60代以上が高い



地域とのつながり

問18：地域で「顔見知りの関係」を築いていくために、取り組めると思うことは何ですか。（複数回答）

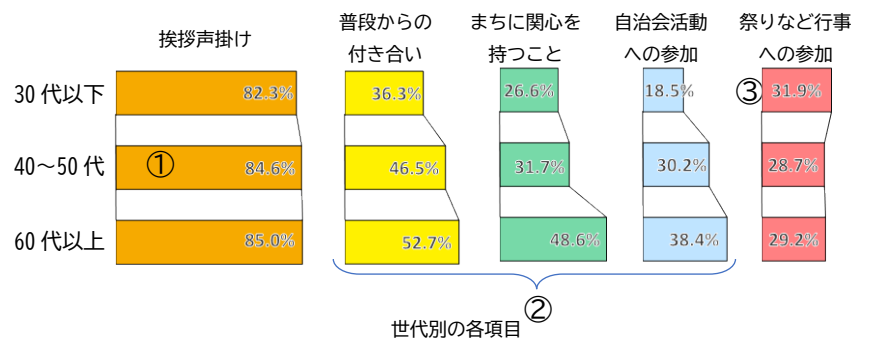
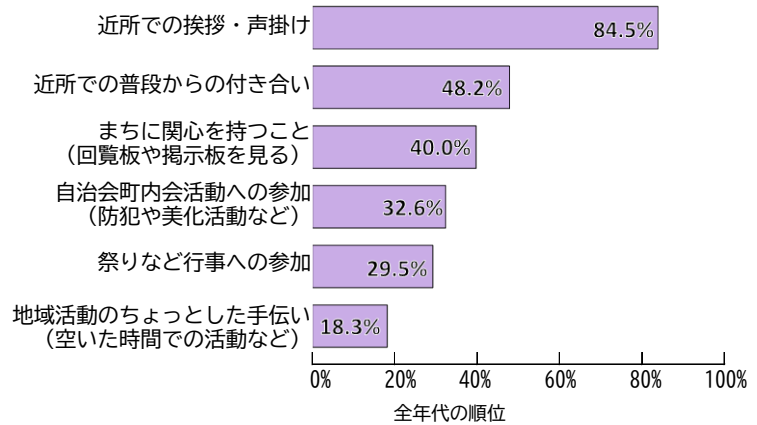
「近所での挨拶・声掛け」が8割を超える

全世代共通して「挨拶・声掛け」が8割を超えています。他の項目と比較して突出しているのは、準備なく気軽にできる取組であることが関係しているかもしれません。

世代別では、30代以下とそれ以上で異なる傾向が見られました。関係を構築したい世代を意識した上で取組を考えることは、各世代を巻き込んだ地域での関係づくりにおいて大切なポイントとなりそうです。

【特徴的なポイント】* 番号は右のグラフに対応

- ① 挨拶声掛け：全世代8割超え
- ② 普段からの付き合い/まちに関心を持つ/自治会への参加：世代が上がるにつれて付き合いや町内活動を重視
- ③ 祭りなど行事：30代以下では3番目に多く選択されており、他の世代と比較して順位・数値共に高い



問19：地域の活動の担い手として参加するために必要と思われることは何ですか。（複数回答）

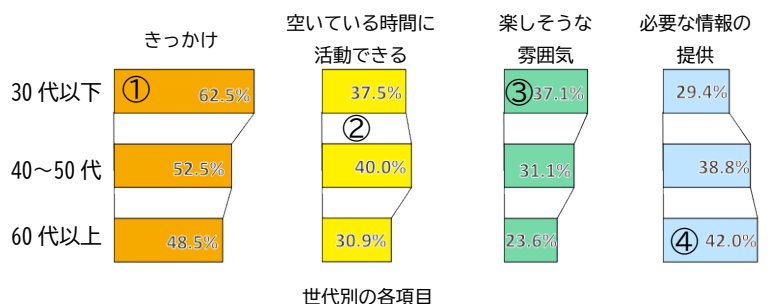
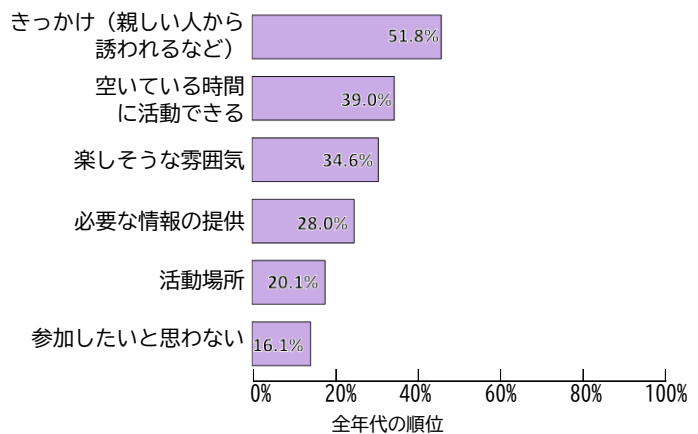
若い世代は「きっかけ」が必要と考えている

全体では、半数を超える方が「きっかけ」が必要と回答されています。

世代別では、若い世代になるにつれて「きっかけ」や「楽しそうな雰囲気」が高くなり、シニア世代になるにつれて「情報の提供」が高くなる傾向が見られました。ターゲットとする世代のニーズを意識しながら地域活動を考えることが、担い手を増やしていく上で有効かもしれません。

【特徴的なポイント】* 番号は右のグラフに対応

- ① きっかけ：30代以下が突出
- ② 空いている時間に活動できる：現役世代が高めに活動できる
- ③ 楽しそうな雰囲気：30代以下が高い
- ④ 必要な情報提供：60代以上が高い



地域活動への参加状況

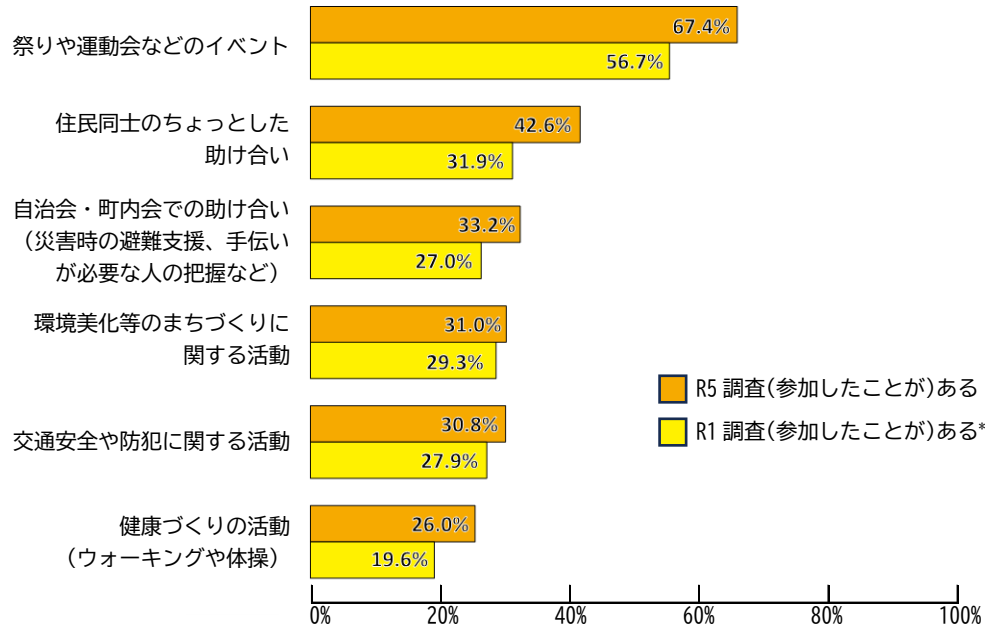
問7：地域で行われている活動への参加の有無を教えてください。(単一回答)

新型コロナ前のR1調査より増加している

新型コロナ前のR1調査(調査票回収：令和元年7月)に比べ、R5調査では地域活動への参加が横ばいか、やや増加している傾向にあります。

その中でも「祭りや運動会などのイベント」や「住民同士の助け合い」がR1調査より10ポイント以上増加するなど、新型コロナを境に地域活動への参加の意識が変化している可能性が見受けられます。

* 選択肢が、R1調査とR5調査で異なっているため単純比較はできませんが、参考として並べて記載しています。



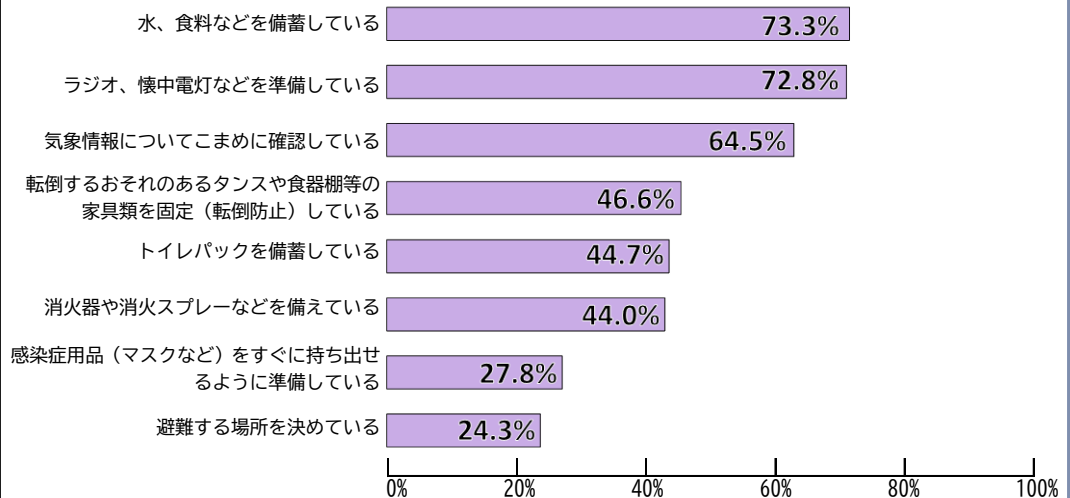
防災

問14：ご家庭では、災害に備えてどのような対策をしていますか。(複数回答)

7割以上の方が「水、食料など」を備蓄できているが、一部課題も

災害に備えて「水・食料品の備蓄」をされている方は7割を超えています。一方で、「トイレパックの備え」については5割を下回っており、必需品としての認知度が低い状況です。

また、「避難する場所を決めている」方は2割ほどに留まっているため、避難する場所を決めていない方は、いざという時のために検討しておきましょう。



発行日：令和6年1月

発行：横浜市金沢区役所 総務部 区政推進課 企画調整係
〒236-0021 横浜市金沢区泥亀二丁目9番1号

電話：045-788-7727 FAX：045-786-4887

Webではこちらの概要版のほか、詳細版や各種データ類をご覧いただけます。

【URL】 <https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kusei/tokei/ishiki/kumin-survey05.html>



区民意識調査 QR コード